

阿賀野市古城跡年表

西暦	年号	事	柄（定説）
前七〇〇年	縄文早期	金太郎山より石刃・木倉山より石刃石器・出土	弘法大師出湯に優姚尊像を刻み海満寺に安置
前三八〇年	縄文晚期	折居川流域に集落が形成はじまる。	行基 - 乙宝寺を開基した
七二九年	天平八年	天平元年	白河荘が立証され九条家の荘園になつた。城氏が治めていた
九二五年	延長三年	天平十七年	城四郎長茂
一一二四年	天治一年	天平八年	城資水・越後国主に任せられる・平清盛死去
一一六七年	仁安二年	天平元年	横田川の戦
一一八一年	治承五年	天平八年	源義仲・征夷大将軍・大見家秀白河荘の地頭
一一八四年	寿永三年	天平元年	平家滅亡
一一八五年	文治元年	天平八年	源頼朝・公文所内注所設置
一一八六年	文治二年	天平元年	大見家秀・白河荘の地頭
一一九二年	達久三年	天平八年	源頼朝・鎌倉幕府を開く
一二二九年	寛喜元年	天平元年	大見行定・水原・舟江の条の地頭
一二五八年	正嘉三年	天平八年	大見家久・下条・館ノ越に館を築く
一二七二年	文永九年	天平元年	大見時実・安田の条の地頭
一二七四年	文永十一年	天平元年	大見の役「元」の兵船博多に上陸
一二七八年	弘安十年	天平元年	大見家政・山浦四ヶ条の地頭
一二三〇四年	嘉元二年	天平元年	鎌倉幕府滅亡・南北朝時代へ
一二三三年	元弘三年	天平元年	足利尊氏・北朝より征夷大将軍に任命
一二三〇四年	文永十一年	天平元年	上杉處顕・越後守護
一二三四年	貞和元年	天平元年	大見家経・笠岡城築城
一二三五年	元弘三年	天平元年	佐々木貞氏・山浦四ヶ条の地頭・駒林・里飯野を含む
一二三八年	嘉永十三年	天平元年	佐々木貞氏・山浦四ヶ条の地頭・駒林村の名が出る
一二三九年	正平四年	天平元年	足利尊氏・北朝より征夷大将軍に任命
一二三五年	正平八年	天平元年	大見伊勢守盛家・足利尊氏より水原郷を与えられ水原氏と称す
一二三八年	正平十二年	天平元年	足利尊氏・北朝より征夷大将軍に任命
一二三九年	正平八年	天平元年	千坂駿河守高春・鉢盛城築城3万5千石
一二四〇年	正平二年	天平元年	千坂高信・白河荘代官
一二四一年	永享二年	天平元年	下条氏の地領・下条・山口・駒林・里飯野を含む
一二四四年	文安元年	天平元年	城代・千坂寅高
一二四六年	文正元年	天平元年	川中島の戦い・村上景清・笠岡城へ四満貫寄付
一二四九年	延徳三年	天平元年	長尾景虎・上杉處政の養子となり上杉家を名乗る
一二五一年	永祿元年	天正二十二年	川中島の戦い
一二五三年	天正十一年	天正二十二年	上杉謙信死去
一二五八年	天正十六年三月	天正二十二年	今井源右衛門久家・笠岡城代々城主
一二五九年	天正十九年	天正十一年	笠岡城在城衆・大室で水原勢（新発田側）と戦っている
一二五九年	天正十五年十一月	天正十一年	上杉景勝笠岡城に入城して新発田重家を討ち果たす
慶長三年	文禄景勝・会津へ国替え	上杉景勝・会津へ国替え	